

「白山寺取川の石ころ」



明光小学校
5年3糸旦

出口蒼真

1. テーマを決めたわけ

ぼくが、なぜ石を言周べたかと言うと、ぼくは
白山や手取川の石は、家の近くに落ちてい
る石とちがうのかを言周べたくな、たからで
す。

今年5月に手取川の河原の石の標本を作、た
ので、さらに言周べてまとめることにしまし
た。

1. 予想

白山には、大きい石がいたくさんあり、手取川
の中流には、小さい石がいたくさんありま
した。家の前の石は、白山や手取川から少しは
なまれているので、小さくて木葉がから
んできます。



家の前でひろった石は、家の近くに川がないので、手取川から流れて来た石か、分かりません。

家を建てた日までに、工事の人が運んで来た石です。

木重^{きじり}実^み言^ごを言^い周^{しゅう}べて見^みると、安^{あん}山^{さん}石^{がん}、玉^{ぎよ}石^し、^{せう}足^{そく}灰^{はい}岩^{がん}、泥^{でい}岩^{がん}などさまざまな木重実言が見られました。

手取川の石

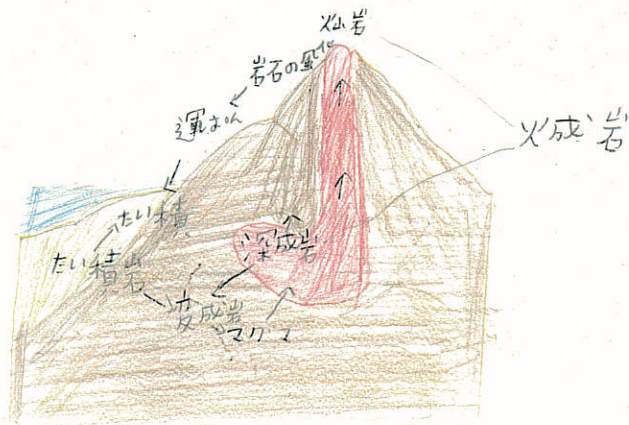


石の種類について

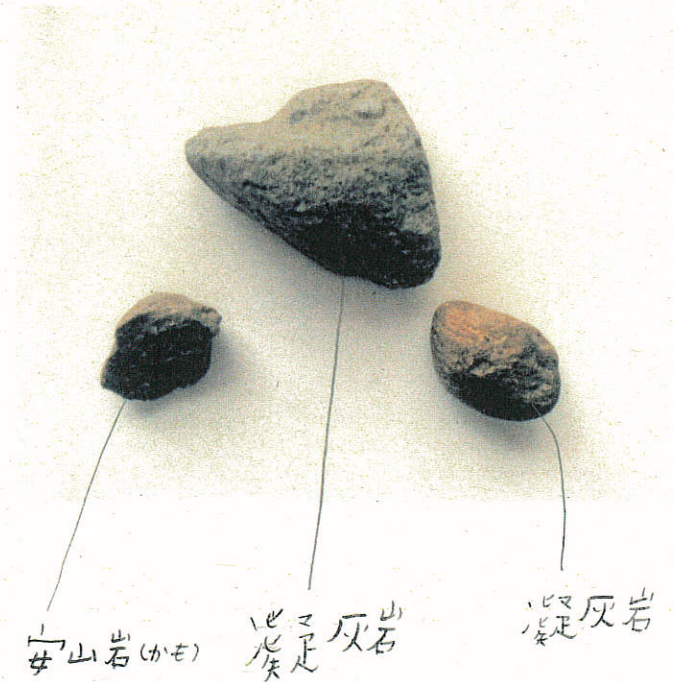
石はすべてそのでき方によって、3つの種類に分けられます。

- ① 火成岩 …… マグマが地表や地下で固まった岩石。
- ② たい積岩 …… 海底や湖底・川底などにたまた泥や石。
- ③ 変成岩 …… 一度できた岩石がその後、高温や高圧の状態になって変化した岩石。

四



家の前の石



名前	炭走灰石 ^{すすりはいし}
大きさ	6.5cm
形	穴だらけ
色	糸黒い
手ざわり	つるつる

この石は炭走灰石^{すすりはいし}の^{すすり}炭走灰石^{はいし}です。石の中に石が入っている物もありました。



石の標本箱

4

名前	石木岩 ^{いしきい}
大きさ	3.5cm
形	長い
色	まうど、黒、白、はい
手ざわり	ずるずる

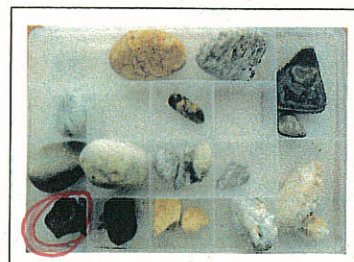
この石はたいせき岩^{たいせきい}の中の石糸岩^{いしきい}でした。石の中に石が入っています。



石の標本箱

名前	泥岩 ^{でいがん}
大きさ	4cm
形	角々
色	赤黒
手ざわり	つる

この石はたいへん^{でいがん}泥岩の^ま赤と黒の色が
くっきり見えます。



石の標本箱

名前	玉石 (オソコツァイト)
大きさ	4cm, 2cm
形	かたい丸い
色	黒、白
手ざわり	つる

この石はたいへん^{オソコツァイト}玉石の^ま白くてすべすべした物
が、あまは黒い物もあります。



石の標本箱

手取川の石

名前	泥岩
大きさ	5cm、4、2.6cm
形	しずく角々化石(みたいな)
色	赤、黒、はい
手ざわり	つるつる

この石はたいせき岩で何十のそれにもなっている泥岩です。

いろんな形になり、一つはしずくの形です。



石の標本箱

6

名前	大玉里石
大きさ	6.2cm、-
形	ギザギザ
色	まっ白、白
手ざわり	かたかた

この石は変成岩は大玉里石でした。

半と日月の色でキラキラしています。

土盤さんをかけるとあわがさかみに出てとけました。



石の標本箱

名前	流紋岩 ^山
大きさ	6cm
形	でんぱく
色	緑、白
手ざわり	つるつる

この石は火成^山岩の流紋^山岩です。

石の中に石があります。



石の標本箱

名前	流紋岩 ^山 ・安山岩 ^山 mix
大きさ	5.9cm
形	イヌミたい
色	黄、青、白
手ざわり	つるつる

火成^山岩の中の安山岩^山と流紋岩^山が混ざった

石でした。



石の標本箱

名前	安山岩
大きさ	3.5cm. 2.9cm
形	まろいざざざ
色	白、はい
手ざわり	からから

この石は火成岩の中の安山岩です。

白と黒の糸晶目かいてくたうです。



石の標本箱

名前	淡色灰岩と石少岩の仲間
大きさ	3.7cm
形	角々
色	ま、うど
手ざわり	からから

この石はぎょう灰岩と石少岩がまじり、たふくかっ
た石でした。



石の標本箱

名前	オーソコーツァイト
大きさ	4.9cm
形	不規則
色	黒、白
手ざわり	つるつる

この石はたれせき岩の玉石です。

大王里石に似ていますが、塩をかけてもとけません。



石の標本箱

名前	流糸文岩
大きさ	2cm
形	変形している
色	はい、白、黒、赤
手ざわり	つるつる

この石はメ成岩の中の流糸文岩でした。しまりのようかいとくちやうです。



石の標本箱

名前	片麻岩
大きさ	4.0cm
形	とんがっている
色	白、はい
手ざわり	つるつる

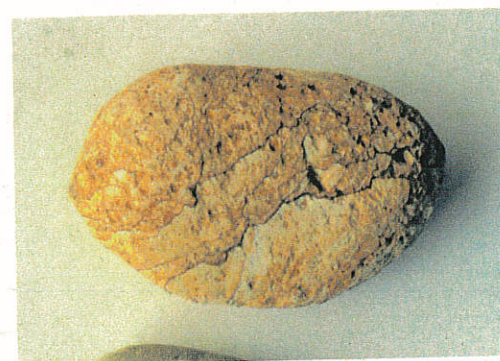
この石は変成岩の片麻岩でした。白と黒のしましまが特徴です。



石の標本箱

名前	凝灰岩
大きさ	6cm
形	まるい
色	おろと、白と茶色のしま
手ざわり	さらさら

この石は、火成岩の凝灰岩です。そのように見えるもようからマグマが流れて来た事を感じました。



石の標本箱

寺取川の石は、白山とちがいでとても小さくな

っていました。このことから石は白山から流れ

て来ているうちに、石と石がたくさんぶつかり、

けずれて、小さくなったと思います。

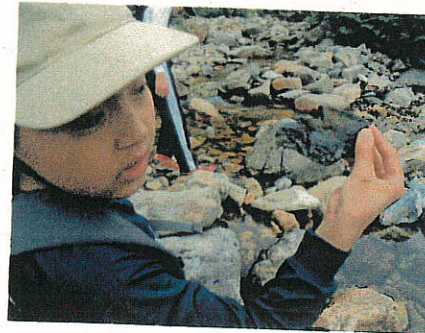
石の種類も色も少しづつ周っただけですが、

さまざまな形、色、かあっておもしろか

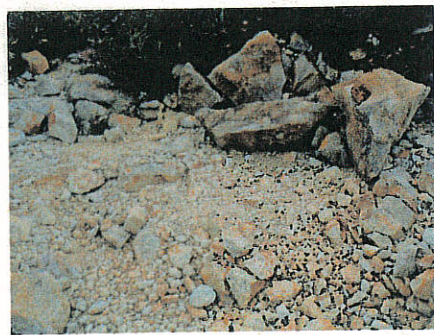
いです。

白山の石

川の石



登山道周辺の石



白山に登ったときに、周りの石を皆見^み察^さしまし
た。白山は国立公園^{こく}なので石を持ち
帰^{かへ}れませんでした。家の周りで見た石とはち
がう木^き藁^{わら}子^こが見られました。登山道^{とんさんだう}の周りは
石^{いし}と言^いうより岩^{いわ}の土^{つち}鬼^{おに}が^たたく、火山^かによって
作^{つく}られたのだらうと感^{かん}じ^じられました。

川の石は手取^{てと}川^{がわ}で見た日^ひ寺^{てら}より何^{なん}倍^{ばい}も
大^{おお}きな石^{いし}の土^{つち}鬼^{おに}が車^{くるま}云^{ぐん}から^ていて、その
間^まを水^{みづ}が流^{なが}れていました。

感想

白山や手取川、家の前の石をたくさん言回して、
石の多重が頁がうつしかないと知ると、おどろ
ろきました。うつしかないのに世界には、
石がたくさんあり、ほくはそれをおける
とどの多重が頁がタタいか気になりました。

参考文献

・「美しい石」

著者：丹土成幸 守
出版社：実業之日本社
参考にしたページ：P30, 31

・「川石のぼうろ 石のうらささとし」

著者：渡辺 一夫
出版社：大日本図書株式会社
参考にしたページ：P8

・「白山の自然心 27 白山の生いたち」

著者：東野 外志男
発行：石川県白山自然保護
センター
参考にしたページ：P19, 20

・白山手取川ハーフレット





モリノ

山口